

旭田っ子だより

令和6年2月29日(木)

旭田小 学校だより No.11

文責:校長 天野 圭

【スキー教室ありがとうございました】

今月9日(金)に行われましたスキー教室では、保護者の皆さまはもとより、町スキークラブ員、町スポーツ推進委員の皆さまに御協力をいただき、ケガなくスキー教室を終えることができました。また一つ、子供たちも私たちもよい思い出ができました。心より感謝申し上げます。



【令和5年度防火ポスター優秀学校賞 受賞】

今年も5年生の児童を対象に火災予防についての願いや思いを絵画として表現し、防火に関する意識を高める作品展「防火ポスターコンクール」に参加しました。

その結果、5年生3名が入賞し、学校全体として防火ポスター優秀学校賞をいただきました。これはとても名誉のある素晴らしい賞になります。学校全体での受賞を全児童、全職員で味わいたいと思います。ありがとうございました。



【時にはマイクに頼らない発表を】

式典等での場は別として、児童・生徒さらには学生であっても、自分の考えを大きな声で発表する姿は本当に素晴らしいと思います。その背景には、自己肯定感や満足感、存在感の高さを感じられるからです。小学校では、児童集会や代表者発表等の際、児童が全校生の前で話す機会があります。そんな時、マイクの力を借りず、堂々と発表できたら最高だなと思っています。コロナ禍以前に、ニュース等で小学生が発表会の際、マイクを手渡ししながら発表する様子を見たことがありました。少し違和感がありました。マイク無しで大きな声で発表できないのかと。現在、コロナ禍が第5類に移行されたことで、実践できるようにするためには、担当の先生がマイクをもって児童を補助することや上級生が下級生にマイクをもって補助することをできるだけなくしていくことも必要のかなと思います。マイクがなくとも、堂々とした発表を。

【よろしくお願ひいたします】

主事の小山花々梨先生が産休・育休でお休みの間、「満山陽一」先生にお手伝いいただいています。満山先生は、以前、主事として働いた経験があり、とても心強く思っています。

学校予算やPTA予算の関係では、皆様方にお世話になると思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

【校長のひとり言】

皆さんのまわりには、「聞き上手」だなと思う人はいませんか。そのような人と話をすると、話し終わった後も心地よく、ある意味リラクゼーションを味わうこともできます。「聞き上手」な人は、話し手の内容を聞きながら、「仕事に必要な内容」「雑談としての内容」等を瞬時に頭の中で分類整理し、余裕をもって話を聞くことができるのだと思います。そして何より、聞き上手な人は、話し上手な人だと思います。自分の伝えたいことに焦点を絞って相手に伝える。時には、段階的に伝えていく。違う考えへの対応も事前に考えて話をする…等。言葉をもつ人間にとって、最高の力ですね。聞き上手=話し上手になりたいと思いながら数十年が過ぎてしまいました。これからも自分の目標として前進したいと思います。